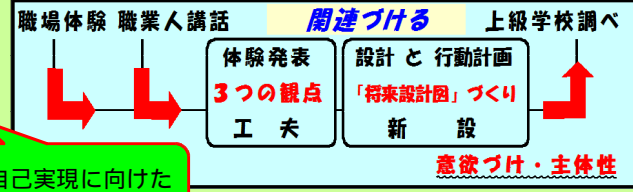


将来の実現に向け、主体的に現実的探索する生徒の育成

－ 職場体験と進路の探索活動をつなぐ「将来設計図」づくりの実践を通して －

キャリア教育班 小野 浩一（中学校教諭）

中学校2年生は「現実的探索の時期」
キャリアプランニング能力（将来設計能力）に着目
職場体験で感じたことや将来への思いを友達と
話し合い、現実を見つめ主体性な進路探索を図る



自己実現に向けた
主体的な行動へ！

キャリアプランニングの過程

①自己理解 職場体験学習のまとめ
働くことと自己の適性の関係を3つの観点をもとにまとめる。

将来設計図づくり

②設計
体験活動から得た自己の適性と夢や希望を関連付け「20年後の私」の姿を見通す。

③行動計画
「今後10年間の行動計画」の作成を通して自分を見つめ、将来の夢の実現のための行動を考える。

「将来設計図」づくりを通して、将来の目標の実現に向けた行動を主体的に考える。

職場体験学習のまとめは **①自己理解**
3つの観点で変わる。

職業の役割、働く人達の思い、働くことの意義や勤労の貴さという観点で振り返ることで、職場体験を経験で終わらせることなく、進路探索活動をつなげることができます。

職場体験学習 発表原稿より

きつい仕事が多かったですが、弱音を吐かず取り組むことができました。職場体験学習を通して、人と人の交流や自分の力を高めるために働いたなどと思いました。職場の方に将来の夢は早く決め方がいいと教えられました。早く決めれば、その夢のためにいろいろできるし、途中で変える事もできると思います。夢は気象予報士になることです。夢を実現し、いろいろな人のために役に立ちたいです。（一部省略）

20年後の私 **②設計**

記入できない項目があったら、それについて友達と意見交換する。話してみることで、自分の適性を見直すことができ、自己理解が深められたよ！



更に直近の十年について行動計画を練る

不確かな所には付箋紙もって調べなくっちゃ！

これからの自分の進路が見えてきたよ！今やらなければならぬことは何かな。
そうだ！上級学校調べでは、高校の
について調べよう。

今後10年間の行動計画 **③行動計画**

意欲的な気持ちを引き出せる。

主体的な現実的探索につながる。

研究の成果と課題

成果 自己理解 設計 行動計画 実行（探索活動）というキャリアプランニングの過程を経験し、将来の自己実現に向けての行動や努力目標を具体的に考えることができた。

課題 意見交流の持たせ方の工夫。今回は、隣同士での意見交換を想定したが、活動の中で生徒は、前後の生徒にも声をかけ合っていた。意見を出しやすくする場の工夫を図っていきたい。